

はじめに

高齢化社会とは、65歳以上の者の割合が全人口の7%を超える社会であるといわれます。

わが国においては、人口構造の急速な高齢化が進展しており、1970年にその割合が7%となって以来、2000年には17%、2010年には少子高齢化がさらに進行して22%となり、2050年にはこれが32%と超高齢社会を迎えるものと予測されています。

事実、最近では街の中でも、買い物をする沢山の高齢者や歩行用杖・車椅子を利用している高齢者を少なからず見受けるようになりました。

こうした高齢社会の進展に伴い、今日、生きがいのある豊かな高齢社会の建設に向けての様々な課題が各方面で提起されているところでもあります。

国民の日常生活に密着したサービスを提供し、国民生活の質的向上にきわめて重要な役割を担っている環境衛生関係営業にあっても、このような社会情勢の変化を踏まえ、高齢消費者の多様なニーズに即応して、高齢者の生きがいを高めるための新たなサービスの開発等に積極的に取り組むなど、高齢社会への具体的貢献による高齢者福祉を果たしながら、業界の活性化と新たな発展を図っていくことが必要であろうと思います。

折しもこのたび、要介護高齢者の生活の質的向上に資するための理美容サービスを業界全体で推進する態勢とあり方を検討するという目的で、当全国環境衛生営業指導センターが、厚生省老人保健福祉局の「老人保健健康増進等事業補助金」による助成を受け、愛知・岡山両県の環境衛生営業指導センター並びに両県の理容・美容業環境衛生同業組合の協力を得て、福祉施設及び在宅の要介護高齢者を対象にモデル的に訪問理美容事業を実施いたしました。

この報告書は、「訪問理美容福祉モデル事業」として取り組んだ結果に基づき、その成果とともに今後の普及推進に際しての諸問題、諸課題等についてとりまとめたものであります。

当指導センターにとりましては、初めての取り組みであり、また限られた期間での事業でありましたが、

- ① 利用者の大多数は、「2 カ月以内」のサイクルでの訪問による理美容サービスを希望しており、「毎月」という希望も施設入所の利用者を中心に少なくないこと
- ② 理美容サービスは、利用者のQOLの向上ということのみならず、情緒、自立心を高めて自律神経活動の賦活を促し、社会性回復を図るうえできわめて有効であること
- ③ 訪問理美容の継続的かつ効果的实施には、実施体制の構築や行政による助成措置、合理的な料金体系、事故の補償制度等今後検討を要する問題や課題が少なからずあること

等様々な事柄が明らかになりました。

環境衛生関係営業における高齢者福祉、地域貢献策としては、既に、例えば旅館業界のシルバースター制度、公衆浴場業界の福祉入浴援助事業や理・美容業界でのボランティア等による福祉理・美容等の取り組みが行われてはおりますが、4月1日からスタートした「介護保険制度」に象徴されるような”福祉の産業化”という社会情勢の中で、環衛業界としては、今後、こうした取り組みを市場開拓の新たなビジネスチャンスとしてどのように組み立て、推進していくのかということは重要な課題であろうかと思えます。

この報告書が、高齢者福祉にかかる行政上の今後の諸施策や理容・美容業界における福祉とビジネスの調和を図った訪問理・美容業の推進に道筋をつけるものとして有効に活用され、高齢者の生きがいを高めるための制度的枠組みの改善・充実、また、理容・美容業界の福祉貢献策のガイドラインとなって業界の振興・発展の一助となることを期待するものであります。

なお、本事業の実施に当たり、種々ご指導を賜りました当指導センター企画委員会の委員各位をはじめ、報告書の執筆をご担当いただきました作業部会委員各位並びに短期間での訪問理美容事業の円滑な実施に多大なご協力をいただきました愛知県・岡山県指導センターの実施委員会の委員各位、また愛知・岡山両県指導センター及び理容・美容業環境衛生同業組合等関係各位に対し、心から感謝を申し上げる次第であります。

平成 12 年 3 月

(財)全国環境衛生営業指導センター
理事長 柳瀬孝吉

<訪問理美容福祉モデル事業企画委員会>

(順不同・敬称略)

- | | | |
|-----|-------|---------------------------------|
| 委員長 | 村川浩一 | 日本社会事業大学社会福祉学部教授 |
| 委員 | 大森利夫 | 全国理容環境衛生同業組合連合会副理事長 |
| 委員 | 柏木欣哉 | 全日本美容業環境衛生同業組合連合会副理事長 |
| 委員 | 鎌田ケイ子 | 東京都老人総合研究所主任研究員 |
| 委員 | 喜多捷二 | 帝京大学経済学部教授 |
| 委員 | 桜井紀子 | 特別養護老人ホーム さくらばホーム長 |
| 委員 | 山下和彦 | 東京電気大学工学部情報通信工学科
人間システム工学研究室 |
| 委員 | 和田敏明 | (福)全国社会福祉協議会地域福祉部長 |

<訪問理美容福祉モデル事業企画委員会作業部会>

(順不同・敬称略)

- | | |
|------|---------------------------------|
| 喜多捷二 | 帝京大学経済学部教授 |
| 山下和彦 | 東京電気大学工学部情報通信工学科
人間システム工学研究室 |
| 荏原順子 | (財)総合健康推進財団教育担当課長 |

<愛知県訪問理美容福祉モデル事業実施委員会>

(順不同・敬称略)

委員長	青木 國雄	愛知県がんセンター名誉総長
委員	太田 和子	愛知県看護協会会長
委員	小田 幸一	愛知県美容業環境衛生同業組合理事
委員	佐合 晃	愛知県美容業環境衛生同業組合副理事長
委員	城 殿 龍男	愛知県理容環境衛生同業組合副理事長
委員	田 中 亨	愛知県社会福祉協議会老人ホーム部会部会長 (特別養護老人ホーム春緑苑苑長)
委員	丹波 典彦	愛知県社会福祉協議会事務局次長
委員	三宅 洋一	愛知県理容環境衛生同業組合事務局長
委員	若杉 賢二	名古屋市社会福祉協議会なごやか事業部長

<岡山県訪問理美容福祉モデル事業実施委員会>

(順不同・敬称略)

委員長	中井 透	岡山商科大学商学部助教授
委員	小野 康次	岡山県理容環境衛生同業組合常任理事
委員	鴨井 倫子	(社)岡山県看護協会副会長
委員	谷口 敏代	県立大学短期大学部助教授(健康福祉学科)
委員	中嶋 實人	岡山県美容環境衛生同業組合副理事長
委員	中原 一郎	岡山県理容環境衛生同業組合常任理事
委員	那須 繁一	岡山県美容環境衛生同業組合常任理事
委員	保坂 邦夫	(福)岡山県社会福祉協議会地域福祉部副部長
委員	渡辺 憲之	岡山県老人福祉施設協議会副会長 (特別養護老人ホーム 憩いの丘施設長)